

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER
GESSIN

September 2025

9月号
No.4



絵：上田健太 UEDA, Kenta

〈2025-26年度 第2700地区ガバナーメッセージ〉

少しの成長から始まります

国際ロータリー第2700地区ガバナー 濱野良彦 (福岡東南RC)

よいことの
ために
手をとりあおう

2025-26年度RI会長メッセージ



識字率の向上について

2025-26年度
第2700地区 ガバナー

濱野 良彦 (福岡東南RC)

国際ロータリーのアプローチ 「教師を育てる」

UNESCOの推計によると、2023年時点で15歳以上で読み書きができない成人は約7億5,400万人で、成人識字率は約87%にとどまっています。また、初等教育年齢（6～11歳）の不就学児童は約6,700万人、6～18歳の子ども・若者全体では約2億5,000万～2億7,200万人が学校に通っていないとされています。

国際ロータリーは、こうした課題に対して「地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし成人の識字率を高めること」を目標として掲げています。

また、教育制度の後進地域に学校をつくるだけで

は、識字率は高まりません。「教師を育てる」といった授業改革に乗り出したロータリーのアプローチは「教える力」を高めることで子どもたちの読む力を育てています。

最近の幼児教育「認知＋非認知」

2000年のノーベル経済学賞の受賞者のジェームス・J・ヘックマン（シカゴ大学）博士は、40年以上にわたる追跡調査をもとに、就学前教育の長期的効果を示しました。博士の著書「幼児教育の経済学」（2015年7月出版）では先進国における子どもの貧困を取り上げ、就学前教育がその後の人生に大きな影響を与えることを明らかにしています。

教育支援における成果

ロータリー財団は、奨学金、教材や学用品の寄贈、奉仕プロジェクトを通じて、世界中で教育支援を行っています。

ロータリーによる活動の例：

学校をつくる。アフガニスタンでは、貧困の連鎖を断ち切り、教育の不平等をなくすために、ロータリー会員が女子学校をつくりました。

成人のための教育。米国デトロイトでは、成人の半数以上が十分な識字力をもたないと言われています。このような状況を受け、地元の非営利団体「ProLiteracy」と協力して、成人への個人指導を行う講師を募集し、研修を実施しました。

新しい教授法の導入。南アフリカ、プエルトリコ、米国で採用されているSOUNDSプログラムでは、子どもたちが文字を名前ではなく「音」で覚えるための教授法を教師たちに指導しています。

学校における水と衛生設備の改善。レバノンでは、生徒たちが元気に授業を受けられるよう、すべての公立学校にきれいな水を提供する設備を整えました。

教育システムの向上。ケニアでは、質の高い子どもたちがより質の高い教育を受けられるよう、「教育のためのグローバルパートナーシップ（GPE）」および政府と協力しています。詳しくはこちら（英語）。

500人 1億ドル

ロータリーの活動によってデトロイトで読み書きのレベルが3学年分向上した成人の数

レバノンの学校がきれいな水を利用できるようにするためにロータリーが支給した補助金

さらに、就学前教育で重要なのは、IQで代表される認知能力だけではなく、忍耐力、協調力、計画力といった非認知能力が重要であることも示され、これまで伝統的に幼児教育で重要視された学力や学歴、IQなどといった知的な能力、つまり認知能力だけを対象とした教育は見直されることとなったのです。早い時期からの教育で人生がどう変わるのか？ 幼少期に適切な教育的働きかけがないとどうなるのか？ なぜ幼少期に積極的に教育すべきなのか？ などを考える必要性を認識すべきでしょう。

求められることは？（米国の例）

米国デトロイトでは2011年の地域調査で成人の約47%が機能的非識字状態にあると推計されました（Detroit Regional Workforce Fund）。現在も識字力向上は重要課題のひとつであり、ロータリーは地元の非営利団体Pro-Literacy Detroitなどと協力し、成人への個人指導を担うボランティア講師を募集し研修を実施しています。このように識字率の向上は先進国においても大切なロータリーの事業分野であることの認識が必要です。

<https://www.rotary.org/ja/words-future>

月刊誌『ロータリーの友』について

『ロータリーの友』への投稿を！

日本のロータリアンは毎月『ロータリーの友』を購読しています。全国のロータリアンが情報を寄せ合うことで、この雑誌は情報誌としての役割を果たし続けています。現在の『ロータリーの友』委員会委員長は高野孫左衛門会員（甲府RC）です。2025-26年度第2700地区代表は上田真也会員（福岡東南RC）です。

『ロータリーの友』は1953年に発行を開始し、全世界と日本のロータリー情報を72年間提供し続けているのです。

読むだけでなく、第2700地区の会員の皆様方にはご投稿をお願いいたします。投稿に際しての要領に関する詳細は、ロータリーの友の紙上で案内されています。

<https://rotary-no-tomo.jp/faq.php>

RIの公式バッジ

昨年度のロータリー研修会で、「ロータリーの友」編集部より投稿写真に関する注意点が説明されました。

- 著作権と肖像権に十分に注意すること
 - 公式ロゴマークでない車輪（ロータリーのシンボルマーク）だけのクラブ旗の写真は掲載しない
 - 上着の襟章は公式バッジに限定している。
- とのお話がありました。

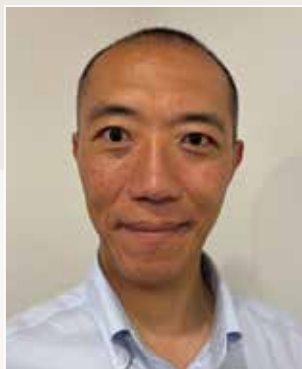
国際ロータリーの公認のO社やF社にはダイヤモンド入りのシンボルバッジなどいろいろな種類のシンボルバッジが販売され、多くの会員が長年使い慣れたロータリークラブのシンボルである車輪だけのバッジが愛用されています。しかしながらクラブ例会などの公式の場では公式バッジの使用をお願いしているところです。車輪だけのシンボルバッジは謙虚で上品だとのこと意見もございますが、「ROTARYと車輪」の公式バッジは目立ちますので、公共イメージ向上を促すと捉えて頂きたいと願っています。ロータリアンのプライドの証として「ROTARY」+「車輪」の公式バッジを使いましょう。



情報の宝箱「ロータリーの友」

「ロータリーの友」は、経験豊かなロータリアンにとっても、新会員にとっても重要な情報源です。

その内容は、最新の活動情報だけでなく、歴史的事実や課題。今後の指針まで、わかりやすい言葉で表現されています。まさにロータリー情報の宝箱ともいえる雑誌なのです。第2700地区の皆さま、ぜひ「ロータリーの友」をお読みいただき、投稿にも挑戦してください。



『ロータリーの友』委員会 地区代表委員よりのお願いとご報告

『ロータリーの友』地区代表委員
上田 真也 (福岡東南RC)

2025-26年度第2700地区『ロータリーの友』(以下、『友』という)委員会地区代表委員を拝命した福岡東南RC所属の上田真也と申します。今年度の「月信」の部門長を兼ねております。

—そもそも『友』とは何か—

そもそも日本のロータリーの創成期、日本は一つの地区でした。1952(昭和27)年4月25日、大阪市で開かれた地区大会で、次年度から日本が2つの地区に分割されることに伴い、それまで、たったひとつの地区としてまとまっていた日本のロータリアンが複数の地区に分かれることになる。そして、その地区の分割はもちろん日本のロータリーの発展に合わせたものであり喜ばしいことではあるものの、やはり一抹の寂しさを感じるものでもあったようです。そこで、日本のロータリーの一体感を維持し高めるため、複数の地区になっても日本のロータリー会員間の連絡をとりあうため、共通の機関紙を創刊したという流れです。創刊は1953年1月です。現在、『友』は、印刷版・電子版を備え、一般社団法人ロータリーの友事務所によって、発行運営されています。

この『月信』と合わせ、日本のロータリークラブに所属される皆様にとって毎月届く『友』をもっと身近に感じてほしいと思います。日本のロータリアンとしては、ぜひ手に取って、一ページでも良いので目を通してください。

そのまま処分するのは勿体ないです。わずかの時間で良いですから目を通していただければ、そこには…

ロータリーに関する基本情報、活動報告、各地区の取り組みなど、多くの情報が詰まっています。

—クラブ会報や例会での活用—

『友』に掲載されている他クラブの活動紹介や特集記事を参考に、自クラブの例会の話題にしてみませんか。

「この取り組みはうちのクラブでもできるのではないか」「こういう特集記事があったので、他クラブにも紹介したい」などなど、よいことの繋がりを会員間で共有していただくことで、ロータリーの活動価値が高まります。

—「友愛の広場」の投稿—

『友』には、「友愛の広場」というコーナーがあり、会員からの投稿も募集しています。

自クラブのイベントや奉仕活動、印象深かった出来事などを記事にして、他のクラブに紹介することができます。掲載されると嬉しいものです。ぜひ多くのクラブ(文脈から上記の会員とした方が良いでしょう。)からの投稿をお願いいたします。

当地区代表委員として、今後さらに多くのクラブが『友』の創刊からの理念を共有し、『友』を活用し、情報の共有や連携が促進されれば、創刊時の先人たちの気持ちに少しでも応えることにつながるのではないのでしょうか。皆様のご理解とご購読を、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

2025-26年度 第1回ガバナー諮問委員会 議事要録

日 時／2025年7月29日(火) 16時00分～17時15分

場 所／ホテル日航福岡 新館B1「ポワール」

【出席者】廣畑PDG、井手PDG、穴井PDG、安増PDG、岡野PDG、貫PDG、西島PDG、吉田PDG、野崎PDG、濱野DG、戸嶋DGE、土井地区幹事 [以上12名] (敬称略)

【欠席者】立花PDG、原田PDG、波多野PDG、小山田PDG、本田PDG、灘谷PDG、古賀PDG [以上7名] (敬称略)

議事進行 土井地区幹事

1. 新旧ガバナーのご挨拶

- (1) 野崎直前ガバナーのご挨拶 (略)
- (2) 濱野ガバナーのご挨拶 (略)

- ・ロータリー財団寄付報告 (2025年6月末現在)
418,152ドル (昨年度末 373,805ドル)
- ・米山記念奨学会寄付報告 (2025年6月末現在)
50,804,084円 (昨年度末 44,603,805円)

2. 戸嶋ガバナーエレクトのご挨拶 (略)

3. 現況報告

- (1) 7月1日現在の会員数
濱野年度 3,102名 内女性会員 271名
(うち衛星クラブ 133名 内女性会員 28名)
野崎年度 3,102名 内女性会員 254名
(うち衛星クラブ 89名 内女性会員 19名)
吉田年度 3,036名 内女性会員 231名
(うち衛星クラブ 73名 内女性会員 19名)
- (2) 廣畑富雄PDGがRIから国際ロータリー 2025-26年度翻訳委員会アドバイザーに委嘱されました。
- (3) 本年度の「地区ガバナー指名委員会」のメンバーは、野崎委員長、灘谷委員、貫委員、西島委員、吉田委員です。
- (4) 本年度の「戦略計画委員会」のメンバーは、吉田委員長、野崎委員 (直前DG)、濱野委員 (DG)、戸嶋 (DGE) です。
- (5) 当地区からの寄付状況を報告します。

(6) 報告事項 濱野ガバナー

A. ガバナー会議 (7月1日開催) 報告

- ・2540地区 (秋田) 会員数:1,080名、2830地区 (青森) 会員数:1,102名
地区の会員数が1,100名を切ると、RIの方針では、地区の存続が困難になるので、会員増強に奮闘中である。
- ・2026年度・国際大会開催地が、ハワイからドバイに変更された。

B. ICC (国際共同委員会) について

- ・RID2232 2025/26DG Dr.Olha Paliychuk氏の説明会に参加 (任意) した。第2700地区は、ウクライナの被災孤児に対しての食事施設の提供支援を推進することとしたい (方向性について異論なし)。

C. RI会長エレクトの交代について

- ・デ・カマルゴ氏の辞任後、フランチェスコ・アレツォ氏 (イタリア) が就任した。

D. 国際奉仕委員会の役割の再考

- ・ロータリー財団の地区補助金の申請の増加お

よびグローバル補助金申請の難易度を下げ
るために、地区国際奉仕委員会にグローバル
補助金に関する相談窓口を開設したい(方向性
について異論なし)。

E.FM ラジオ放送の経過報告

- ・9月までの出演者が決まり、順次収録中であ
る。9月中に運用担当している福岡東南RCや
地区公共イメージ向上委員会などとの協議会
合を持ち、9月以降の企画を検討する。

F. 第2700地区における文化的事業に対するロータ リーの後援体制について

- ・第2700地区のロータリアンの文化的事業の広
報活動支援として、ロータリアンの開催する
文化的事業に対する“後援”を検討する部署を
設置したい(方向性について異論なし)。

H. 福岡県知事、福岡市長、北九州市長への「ガバ ナーの表敬訪問の慣例化」について

- ・他地区では周辺自治体の首長を表敬訪問し
ている例があるが、当地区では行われていな
かった。主要な自治体の首長はクラブ名誉会
員である場合があり、特にそのような首長へ
のガバナー就任挨拶は積極的に奨励されてし
かるべきではないかと思われる。実施する方
向で進めたい(方針について異論なし)。

I. 福岡市への国際大会招致事業について

- ・開催時期は早くとも2033年以後になるとのこ
とである。10年後の招致を目指し、その準備
事務としてタスクチームを立ち上げたい(水野
RI理事及び四宮RI理事エレクトの内諾を得
て対処している。)

※主な意見の要旨

▶大阪も非常に苦勞された。東京・大阪は都市
のサイズが桁外れに大きく、役割も異なる。
大阪の招致例を単純スライドして福岡に当て
はめるのは難しい。その点での慎重さが必要
である。

▶招致プロジェクトは日本全国のロータリー
から資金提供を受けなくてはならず、ロータ
リージャパンとして取り組む事務になる。地
区だけで完結する事務ではないから、RI理事
を通じて密に意向調整しながら進めることが
重要である。

J. 新クラブ開設のためのタスクチームについて

- ・福岡東南けやきRSCの村瀬廣記会員(2025年
度地区大会実行委員長)を中心に数名のタスク
チーム要員の招聘を行い、活動を開始するこ
ととしたい(特に意見なし)。

K. 公式バッジの使用について

- ・ガバナーからのお願いとして、現行公式バッ
ジの着用を推奨することとしたい。
※バッジに関する現行公式ルールを正確に確
認するように意見があった。

L. 退会ロータリアンのための「ロータリークラブ 在籍証明書」の発行について

- ・転勤その他の理由で退会したロータリアン
の再入会を誘引するための新規事業として、
「ロータリークラブ在籍証明書」の発行を行う
方向で準備を進めたい。
※地区としての文書発行に規則への抵触や制
限がないか、RI日本事務局に確認するなど
して行うのがよいとの意見があった。

(7) 報告事項 野崎直前ガバナー

A. 地区5か年計画について以下の項目の報告がなされた。

- ・マイロータリーの登録率は、58.22%まで伸びてきた。
- ・DLP、CLC、研修委員会は、ほぼ当初の目的を達成した。
- ・RLIはゼロから始まったが、毎年150名から110名前後で増え、現在の履修者は712名。ファシリテーターは55名。
- ・新クラブ結成は、3つの衛星クラブ（博多イブニングトワイライトRSC、八女グリーンRSC、門司西めかりRSC）が設立された。なお、大牟田北が9月か10月に申請予定。
- ・濱野年度の期首7月1日現在で会員数3,102名。
- ・ロータリー財団の地区目標について、年次寄付150ドル/1人目標が108ドル、ポリオプラス30ドル/1人目標が27ドル、合計の150ドル目標に対して135ドルまで伸長した。その下支えが、年間1000ドルのPHS（ポール・ハリス・ソサエティー）と年間100ドルのPPS（ポリオ・プラス・ソサエティー）のメンバーの増加にある。
- ・米山記念奨学会は普通寄付金と特別寄付金の合計が、5,000万円を超えて地区順位8位となり17,000円/1人の目標に対し16,000円台まで近づいた。特別寄付者割合は55%の目標を超えて61.5%まで伸びた。

B. 2024-25年度現況報告として以下の項目について説明がなされた。

- ・地区補助金を活用した国際奉仕プロジェクトとして、第3350地区（タイ）のサラブリー県の幼稚園トイレ補修がなされる予定。

- ・グローバル補助金を活用した国際奉仕プロジェクトが宗像RC、福岡南RC、太宰府RC、柳川RCで事業が始まろうとしている。
- ・地区の危機対応資金の執行と地区内クラブ等の災害支援金、支援先について説明がなされた（能登半島豪雨災害、大船渡大規模火災、ミャンマー大地震災害の3つの災害に対して、地区の支出330万、クラブから660万、総額990万円をそれぞれの被災地に送金）。
- ・地区大会でお預かりした121万3千円の浄財についてその寄贈先の説明があった。

（質疑応答）

▶「2024-25年度記録誌」は地区大会の余剰金で制作されたのですか。

余剰金は、次年度へ繰り越すのが大原則である。（安増PDG）

地区大会に財源を予算建てして対応している（野崎直前DG）

4. 戦略計画委員会報告

吉田戦略計画委員会 委員長

- ・地区規則改訂作業の進捗状況について、戦略計画推進委員会より報告を受けた。この規則改訂事務に関連して、規則類の地区ウェブサイトへの掲示方法（レイアウトの変更等）について提案を受け、承認した。その主要内容は、①掲示する規則類の絞り込み（一般周知の必要ない規則類を外すこと）、②掲示方法重複の改善の2点である。
- ・クラブサポートミーティングの準備が出遅れたため、今後の進め方を協議した。

5. 国際大会報告 野崎直前DG

・6月20日から25日まで、カナダカルガリーで国際大会が開催されました。日本からは1,200名ほどの参加で、世界で3番目に多いとのことでした。地区のツアーに参加された方は18名、その他に6、7名が個別参加でした。過去に青少年交換でお世話した方々がアメリカにおられてその皆さんも含めて6/23-24には26名のメンバーとなってガバナーナイトなどを開催いたしました。大会の特徴はノーベル平和賞受賞者のイエメンの女性作家タワックル・カルマン氏やWHOの事務局長のテドロス・アダノム氏がゲストスピーカーとしてお話しをされました。ビデオメッセージでビル・ゲイツ氏も登場しました。特に事故などもなく、全員無事に帰国しました。

6. ガバナー指名委員会報告 吉田PDG (2024-25年度指名委員会 委員長)

・「ガバナー候補者の推薦について（お知らせとお願い）」を月信8月号に掲載すると同時に地区内全クラブに発出した。

・ガバナー選出が著しく遅滞している現状への危機意識を共有し、ガバナーを推挙する責任が全てのクラブにあることの自覚を促すことがねらいである。併せて、これからの手順として指名委員会による働きかけは、グループ輪番の慣行を尊重して第4・第5グループを中心に行うものの、非公式の推薦はグループに関係なく受け付けて委員会指名において尊重する扱いとしたこと、指名がうまく進まないときには、地区内全グループを対象に働きかけを行う可能性があることを告知した。

7. 2025年規定審議会決定報告書について 吉田PDG(審議会対応委員会委員長)

日本のロータリーと国際標準との常識や感覚の乖離について、出席者としての立場から感想が述べられ、以下について簡単な説明がなされた。

- ・採択制提案25-28 理事会がクラブに対して、会員又はローターアクターの会員身分を終結するよう指示できることを規定する件
- ・採択制提案25-35 ゾーン構成の決定基準を改正する件
- ・採択制提案25-07 新しいロータリークラブの加盟に必要な会員数を減らす件
- ・採択制提案25-49 人頭分担金を増額する件

(配布資料)

- 1 議事・報告内容
- 2-1 第2700地区5ヵ年計画の年度別実績表
- 2-2 第2700地区2024-2025年度現況報告
- 3 ガバナー候補者の推薦について（お知らせとお願い）
- 4 2025-2026年度地区外(役職)出向一覧

野崎パストガバナー慰労会・濱野ガバナー激励会

2025年7月29日(火) 17:30～19:30
ホテル日航福岡 2階「ラメール」



第1回ガバナー諮問委員会終了後に新旧ガバナー慰労会・激励会が開催されました。主催者である吉田知弘パストガバナーによる開会のご挨拶と乾杯のご発声の後、野崎千尋直前ガバナーご夫妻、濱野良彦ガバナーを囲むにぎやかな宴が始まりました。濱野ガバナーより、野崎直前ガバナーご夫妻へ謝礼と花束が贈呈され、これまでのご功労に敬意を表されました。ご出席のパストガバナーの皆様から新旧お二人のガバナーに向けて慰労と激励の言葉がかけられ、大役を終えられたばかりのホッとした表情の野崎直前ガバナーと緊張した面持ちの濱野ガバナーが印象的でした。

(ガバナー事務所長／土井 通誉)



ガバナー公式訪問のご報告

第6グループ 小郡ロータリークラブ

7月14日(月)

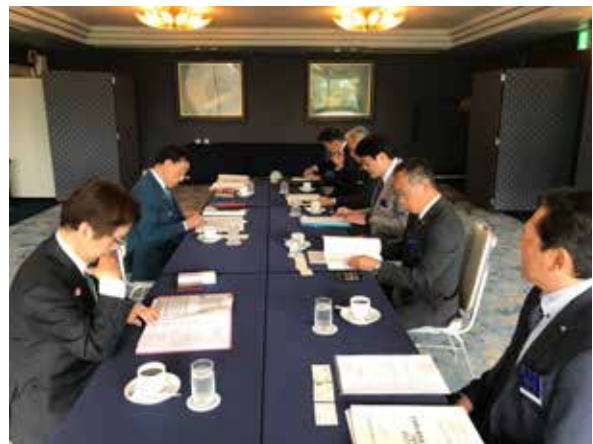
さらに親睦を深めロータリーを楽しもう



7月14日曜日、小郡ロータリークラブの公式訪問に随行致しました。

会長：浜崎 恵 氏 幹事：田籠 武彦 氏
 会員数：47名(内女性2名)
 小郡七タロータリー衛星クラブ 会員数：13名(内女性0名)

小郡ロータリークラブは、1981年11月に久留米東RCをスポンサークラブとして誕生し今年度44年を迎えます。また、小郡七タロータリー衛星クラブを2024年2月に設立しお互いの交流を深めています。地元小郡市、大刀洗町に根差した奉仕活動を小郡市議会と小郡ライオンズクラブなどの他団体と共に行っています。また、鳥栖RCと太宰府RCとの合同例会・親睦ゴルフ大会、小郡プロバスクラブとの新年会など、クラブ内外での親睦と交流も大切にしています。今年度の会長メッセージは「さらに親睦を深めロータリーを楽しもう」と表明されました。ガバナー年度を見事にやり遂げたことにより、会員の達成感、連帯感、団結力が一層強化されました。今後はスピードを少し緩めゆっくりロータリーを考え、さらに親睦を深めることに重心を移そうと考えられ



ました。2024-25年度はクラブ優秀賞を達成され、今年度も達成することを目標に設定しています。会員増強に関しては、退会防止と女性会員増強に対する熱意が感じられました。国際青少年交換プログラムにも積極的に取り組み留学生の派遣、受け入れを毎年継続に行っています。福岡県立小郡高等学校での職業選択のアドバイス「職業人講話」を10年以上続けておられます。野崎ガバナーの輩出により小郡クラブは大きな躍進を遂げ、変化に強く未来を切り開いていく能力を獲得したという印象を持ちました。

(地区幹事／土井 通誉)

ガバナー公式訪問のご報告

第4グループ 福岡ロータリークラブ

7月16日(水)

多様性を推進力に



7月16日水曜日、福岡ロータリークラブの公式訪問に随行致しました。

会長：本田 浩 氏 幹事：藤井章生 氏
 会員数：124名(内女性6名)

福岡ロータリークラブは昭和8年（1933年）3月5日創立。日本で14番目、九州初のクラブで2023年に創立90周年を迎えられました。姉妹クラブに釜山RC(韓国.1968年)、オークランドRC(米国.1978年)、ボルドー RC(仏.2013年)があり、積極的な国際交流・国際奉仕活動に取り組んでおられます。

また、独自の奨学金制度による青少年奉仕「公益財団法人福岡ロータリークラブ奨学金」を62年継続して運営されています。

さらに、クラブの特徴として会員の約1/3は域外を本拠地とする企業の支社長・支店長で構成されており、3～5年程度で交代する傾向にあるので、クラブに新たな活力や雰囲気をもたらしている。とのこと。

本田浩会長は会長メッセージを「多様性を推進力に」と掲げられ、多様な職種、各界のリーダーが集う

福岡ロータリークラブだからこそ、その力を結集すれば、より強固な推進力になるものと確信しております。その結果は、第2700地区濱野良彦ガバナーからのメッセージ「少しの成長から始まります！」にも反映されるのではないのでしょうか。と結ばれています。クラブの活性化については、歴史と伝統あるクラブとして次の100周年に向かって改めて親睦を大切にし、友情を育むことを大切にしているクラブだからこそ、当クラブ入会したいという方々が自然発生的に増えることを目指したい。と語られています。

クラブのビジョン(中長期的目標)については、8年後のクラブ創立100周年に向けて長期計画委員会の設置を検討する。とのこと。クラブ内には、入会から49年皆出席の清原宗鴻さん(87歳)がいらっしゃいます。

おかげさまで、会員の皆様の表情や所作に九州随一の老舗クラとしての自信と誇りを垣間見ることができました。

(地区副幹事／石川 哲也)

ガバナー公式訪問のご報告

第5グループ 福岡城東ロータリークラブ 7月19日(土)

文化を通して心を豊かに



7月19日土曜日、福岡城東ロータリークラブのガバナー公式訪問に随行いたしました。

会長：鷹尾 維教 氏 幹事：池松 正剛 氏

会員数：22名(内女性3名)

福岡城東ロータリークラブは1986年2月に創立し、今年度40周年を迎えます。

クラブの特徴は、例会日が土曜日の朝8時半からのモーニング例会が実施されていることです。

大企業所属の会員がいいため、会員の入れ替わりは少ないですが、その分会員同士のつながりが強く、全員が協力できる体制が整っています。また、年に1回沓岐RCとの合同例会を持ち回りで行っています。今期の鷹尾会長のメッセージは「文化を通して心を豊かに」とされており。今期のRI会長のメッセージ「よいことのために手を取りあおう」と第2700地区ガバナーのメッセージ「少しの成長から始まります」を体現するためには、心の豊かさが必要だと考えられ、その手段として「文化を知る」ことに重きを置いた能楽師の鷹尾会長らしいメッセージです。

今期は40周年記念式典も開催されるため、勢いをつ



けるためにも、会員増強も含めより一層クラブが盛り上がる仕掛け(3か月に1回のゴルフ同好会等)を検討されております。

社会奉仕活動として、ポールハリスフェローやポールハリスソサエティの人数が多く、20周年記念事業として始まった不登校者支援施設「えすべらんさ」への支援も長年続いております。

また、クラブを引退・退会された方々のクラブ「福岡城東プロバスクラブ」との懇親と支援も行っており、これまでクラブを支えてくださった先輩方との交流の機会も大事にされています。会長の時間において、鷹尾会長による「謡(うたい)」を聴くことができるのも魅力の一つです。会員同士非常に仲の良いアットホームな雰囲気、心地よく過ごすことができたこと感謝いたします。

(地区副幹事／石川 龍之介)

ガバナー公式訪問のご報告

第5グループ 博多ロータリークラブ

7月22日(火)

明るさを意識し、ともに活動しよう



7月22日火曜日、博多ロータリークラブの公式訪問に随行致しました。

会長:八坂 英道 氏 幹事:野田部 哲也 氏
会員数:58名(内女性6名) 令和7年7月15日現在

博多ロータリークラブは1980年4月に創立し、今年度中に46周年を迎えます。創立10周年記念事業として「博多伝統手職人連盟」を設立し、博多の文化に貢献されています。クラブの委員会に、健康増進委員会が設置され会員の健康について、様々なアドバイスが行われています。この日の例会において、八坂会長が会長の話の中で、熱中症対策について専門家の立場から意見を述べられていました。

八坂英道会長のクラブ運営方針は、「1、会員間の親睦を深め、ともに活動しましょう。2、明るく楽しい例会としましょう。3、常に明るい挨拶を心がけましょう。4、新会員の入会を促進しましょう。5、クラブの活動をアピールしましょう。」です。今年度の重点目標としては、「1、楽しく意義ある例会運営 2、ポールハリスフェロー全員登録 3、博多伝統手職人連盟との交流促進」を挙げられています。2021—22年度からハイブリッド例会を実施されリモート出席も正式に「例会出席」と認める



運用を実施されています。

「会長・幹事との懇談会」では国際奉仕活動についての話題の中で、濱野ガバナーより、グローバル補助金活用の具体例が語られ、会長・幹事ははじめ皆さん興味深く聴いておられました。また、クラブ最高年齢であられる穴井パストガバナーより、2025年5月17日の地区研修協議会での講演論文をいただきました。1905年にロータリークラブが創設されて間もない1911年に掲げられた職業奉仕の考え方、続いて1927年に四大奉仕部門が確立されたこと、さらに日本のロータリーの創立と歴史、国際標準のロータリーと日本のロータリーの親睦の意味の違い、日本のロータリーアン得意・不得意な奉仕部門について、最後に未来への提言で結ばれています。その後の例会では、猛暑の中、全員の方がネクタイを着用され、心温まる歓迎をしていただきました。

(地区副幹事 石川 哲也)

ガバナー公式訪問のご報告

第4グループ 福岡東ロータリークラブ

7月24日(木)

愛



7月24日木曜日、パストガバナー吉田知弘氏が所属する福岡東ロータリークラブの公式訪問に随行いたしました。

会長：薮野 修二 氏 幹事：新嶋 秀夫 氏

会員数：76名(内女性18名)

福岡東令和あけぼのロータリー衛星クラブ

会員数：18名(内女性2名)

福岡東ロータリークラブは1970年9月に創立。2013年より女性会員も入会し現在までに2人の女性会長が誕生され、インターアクトクラブや衛星クラブなどと一緒に、活発な活動がなされています。特筆すべきは、若い会員を含めクラブから9名の方が地区委員会に出向されており、地区運営へのご貢献を継続されています。

薮野修二会長の会長メッセージは「愛」です。「愛」は人と人を結び、世代・分野・地域を超えて互いに支えあう心の原点。この「愛」を軸にロータリアンとして、また地域社会の一員として3点の社会課題に取り組まれるとの事。

1, 教育 2, 食と農業 3, 認知症予防



ここ数年、福岡東ロータリークラブは、吉田ガバナー、大神ガバナー補佐を輩出され、対外的に充実した実績を重ねられてこられました。今期は55周年を迎えられクラブ内部の充実にも力を注がれ、諸先輩方への感謝を改めて表し、その功績を讃えるとともに、次の世代へのその精神を受け継ぐ機会としたいとの事。

「ロータリーの最大の贈り物は、外部から認められるその“会員”自身である」の言葉を胸に一人一人が価値を体現できるようとの事でした。

(地区副幹事／中村 勇治)

ガバナー公式訪問のご報告

第2グループ 小倉中央ロータリークラブ 7月28日(月)

さらに親睦を深めロータリーを楽しもう



7月28日月曜日、小倉中央ロータリークラブの公式訪問に随行致しました。

会長：松田 直子 氏 幹事：溝尻 武則 氏
 会員数：43名(内女性12名)

小倉中央ロータリークラブは、1992年3月に小倉RCをスポンサークラブとして誕生し、今年度33年を迎えます。

当時、小倉RCがクラブの方針として女性の入会ができなかった為、創立時より女性の入会を積極的に進めてきました。チャーターメンバー 42名の内、女性会員は11名で、品格に加えて華やかな雰囲気はクラブ誕生以来受け継がれてきたようです。活動的な女性経営者が数多く在籍され、地区で最初の女性クラブ会長が誕生したのも当クラブです。チャーターメンバーの内8名が現在も在籍しておられます。今年度の会長メッセージは「楽しく広げようロータリーの輪」と表明されました。世界もロータリーも常に変化を続けていますが、会員の皆さんと共に変化する事で変化への不安も和らぐと考えられ、その中で会員満足度の向上を目指しながら



会員力の強化を図り、ロータリーの輪を楽しく広げたいという思いを込めたメッセージとなっています。

創立5周年記念事業として東筑紫学園高校にインターアクトクラブを創設し、現在も積極的な交流が図られています。社会奉仕活動として児童養護施設（双葉学園）や更生保護施設（湧金寮）のサポートを続けていらっやいます。オープン例会を利用した会員増強にも、実績を上げておられます。また、次年度は衛星クラブの設立も検討されており若い会員の開拓に意欲的だと感じました。当日は濱野ガバナーの誕生日にあたり、誕生祝サプライズが演出されており、こまやかな心遣いが印象的でした。

(地区幹事／土井 通誉)

ガバナー公式訪問のご報告

第4グループ 太宰府ロータリークラブ

7月29日(火)

成長を楽しみましょう



7月29日火曜日、太宰府ロータリークラブの公式訪問に随行いたしました。

会長：井上 孫紹 氏 幹事：三条 裕士 氏
 会員数：47名(内女性3名)

太宰府ロータリークラブは1977年5月に創立し、来年度50周年を迎えます。会員の多くが春日市、大野城市、筑紫野市、太宰府市、那珂川市及びその近郊で構成されており、会員相互の交流は蜜に行われています。また、会員の約4割は地元の青年会議所出身とのことで、会員増強を図るには地域密着クラブとしての魅力を向上し、会員間の交流を計っていくことが重要な課題だと考えておられます。

井上孫紹会長は、今年度のクラブメッセージを「成長を楽しみましょう」と表明されております。「子どもの成長はそれまでの苦労を忘れられるぐらい嬉しいものです。また、自分自身の成長を感じることができれば、それまでの苦労もいい思い出に変るのではないでしょうか。

成長のためにはある程度の負荷が必要です。2025-26年度はデフリンピック応援会、IM等大きな行事が予定されています。太宰府ロータリークラブ会員の皆さんが、手を取り合いながら、自分自身、ご家族、仕事そして太宰府ロータリークラブに関わる人が、様々な行事を通じて成長を感じ取れるような1年にしていきたいと思っております。」と結ばれています。そして以下の5つを重点目標に掲げられています。「1. ロータリー活動の基本である例会を成長させましょう。2. 成長の機会を与えるために、仲間を増やしましょう。3. 会報・広報活動を成長させましょう。4. 奉仕活動を通じて自分自身・会社・地域を成長させましょう。5. IMは絶好の成長の場です。」会員全員で取り組みましょう。

奉仕活動の一環として太宰府天満宮の清掃、毎年3月に太宰府天満宮で開催される「曲水の宴」に交換留学生と米山奨学生を招待され、日本文化の奥深さを体験してもらっているそうです。例会においても、皆様の心温まる歓迎をしていただき感銘を受けました。

(地区副幹事/石川 哲也)

ガバナー公式訪問のご報告

第6グループ 浮羽ロータリークラブ

7月30日(木)

共に手を取り、力を合わせ、クラブ繁栄のための少しの成長を



7月30日、記録的な猛暑の中、浮羽ロータリークラブの例会場、原鶴温泉泰泉閣を訪問しました。福岡県南部の耳納連山と筑後川の間に位置するうきは市にある浮羽ロータリークラブ(会長 古賀公彦氏、幹事 江口秀敏氏、会員数33名〈2025年7月1日現在、内、女性1名〉)は、1971年7月5日の創立で、今年は創立55周年の節目の年になります。

例会に先立ち行われた会長・幹事懇談会では、クラブの重点課題で、地区の課題でもある「会員増強」を中心に議論が進められました。古賀会長より、2008年の60名をピークに減少する会員数を増加に転じるべく、一次産業を基盤にしたこの地域でロータリーの魅力をどう伝えるか、その取り組み状況と課題を述べられ、これに対し、濱野ガバナーからは、会員の減少と共に進む高齢化の現状(平均年齢67歳)を鑑み、若年層獲得にも有効な衛星クラブの設立についても、他のクラブの成功事例を交えた提案がありました。

新たな一步を踏み出すための、地区とクラブ間の多面的な意見交換は、これからの活動への変化と継続性に求められるもので、双方にとっても意義深い時間

でした。

直後の例会では、濱野ガバナーより、地区メッセージ「ほんの少しの成長から始まります！1.01で成長、0.99で衰退」について、この言葉の意味するところと、その背景について具体的な事例を交えた講話がありました。会員の皆さまには、時折メモを取られるなど、熱心にお聞きいただき、例会後は出席者全員で集合写真を撮り、和気あいあいとした雰囲気の中、会場を後にしました。

古賀会長は「会長所信」で、実現したい事は、例会や活動を通じて自己の成長を感じられる場をつくることと述べられています。クラブの活動計画には、会員にとって職場や生活に身近な地域との関りや、青少年との交流が色濃く反映された内容が多く折り込まれ、これらの活動が、自己の成長と、クラブの繁栄に、そして地域の発展に繋がっていくことを祈念してやみません。

(地区副幹事/村瀬 廣記)



ローターアクトの現況ならびに、 地区役員会・会長幹事会報告

地区RA委員会共同委員長

片山 亮輔 (福岡南RAC)

地区RA委員会にて共同委員長を務めさせていただきます福岡南RACの片山亮輔と申します。1年間、よろしくお願い申し上げます。地区RA委員会は、ローターアクトクラブ会員も在籍している委員会となり、RAC側の窓口として出向させていただいております。

はじめに、ローターアクトクラブの全体概況につきましてご報告いたします。ローターアクトは従来、30歳定年制が施行されていましたが2019年のRI規程審議会の結果、定年制は撤廃されております。しかし若者が集まる団体としての風土は残っており、今後のRI動向や各クラブの意向を鑑みながら、会員が活動しやすい環境を整えられるように尽力して参ります。

さて当地区ローターアクトに目を向けますと、大学基盤のクラブ新設や各クラブの会員増が要因となり、

2025年7月1日時点で活動が確認できるクラブ数および会員数は12クラブ・137人となっております。このうち一番会員数の多いクラブは帝京大学福岡RACの42人です。

帝京大学福岡RACは帝京大学福岡キャンパス（福岡県大牟田市）の学生が中心となって運営しているクラブです。同キャンパスには医療系学部が多くあり、看護師や作業療法士、救急救命士などを志す学生が在籍しています。地域周辺の清掃活動や阿蘇の野焼きボランティアといった活動を通じて、地域に根差しつつ大学で学んだことを生かせるようなクラブ運営をしています。

続いて地区全体の会員比率についてです。137人を男女で分けてみると、男性76人：女性61となっております。



7月5日の会長幹事会集合写真



参加者から地区委員会への要望も

す。男女の会員比率がほぼ1：1になっていることが分かります。各クラブが男女の分け隔てなく運営できているからこそ、このような数値が出ているのかもしれませんが。一方でクラブ毎の会員数を見てみるとバラつきがあるのが現状です。各クラブがより積極的に活動できるよう、会員増強につきましても注力して参ります。7月5日には今年度第一回目の地区役員会・会長幹事会を実施しました。地区役員会では前述の会員数などの概況や行事予定を確認したのち、討議事項の検討に入りました。ご参加いただいた皆様から、さまざまなご意見をいただき議論を深めることができました。

会長幹事会では各クラブ会長・幹事から、クラブの特徴や課題、今期実施予定の奉仕活動についてご説明いただきました。クラブの課題について一番多く発言があったのは、会員数の減少です。

2020コロナ禍によって活動が制限されてしまい、会員獲得に向けた取り組みがうまく実施できなかったこともありますが、会員数減少は従前からローターアクトクラブ共通の課題でした。特に、福岡市以外に拠点を構えるクラブから会員減少の懸念の声が聞こえてきました。地域に若者が少ないことも起因しているようです。一方で、企業から若手社員を研修の一環として派遣してもらうことで会員増に成功しているクラブの報告もありました。ローターアクトクラブ活動は、異業種の仕事に従事する若手社会人が多く集まります。複数人で連



会長幹事会での各クラブ運営陣からの現況報告

携しながら例会や奉仕活動を企画していくことから、コミュニケーション能力の向上や知識拡大などを目的として若手の育成プログラムとして輩出いただいている企業もあります。ロータリー会員の皆様や、知り合いの若手社員への声掛けといった「草の根」活動が奏功しているようです。

奉仕活動については、今年度から新しい取り組みに挑戦すると発表頂いたクラブもありました。活動実施後、改めて月信などでご報告させていただければ幸いです。

結びになりますが、私の考えるローターアクトの最大の魅力は「アイデアが生まれやすい環境」だと感じています。会員が自由にアイデアを出し合いながら、既存の枠組みにとらわれない発想を通じて奉仕活動をより活性化できるようにしていきたいと考えております。



豊かな自然プロジェクト 補助金事業報告

2024-25年度

奉仕事業 社会・職業奉仕委員会 委員長

高橋 明彦 (八幡RC)

2025年5月11日(日)、八幡ロータリークラブでは「八幡100人清掃」と銘打って、八幡東区九州国際大学周辺での清掃イベントを実施しました。八幡の地で世代や業界を超えた多様な市民が一堂に集まり、街中のごみ拾いを行って、美しく健康で安全な街づくりを願う心を共有することがねらいです。今回は、九州国際大学附属高校インターアクトクラブや八幡ロータリーアクトクラブ、ロータリー会員の企業社員や家族の皆さん、九州国際大学の大学生・留学生、地元プロスポーツ球団の選手など、総勢151名でにぎやかに開催しました。

清掃においては、八幡ロータリーアクトクラブが5班をそれぞれ引率して清掃要領の指導や道路上の安全確保に当たってくれました。参加者の皆さんも、ごみ拾いで共に汗をかきながら交流が広がり、楽しい時間を過ごしていました。

清掃活動の後は、峯浦ロータリーフェローズ2700委員長によるエンドポリオの説明をもとにインターアクトクラブが募金を呼びかけたり、プロフットサルチームやプロ独立野球チームの皆さんも気軽に記念撮影に応じて

下さって、幅広い情報交換と交流の場を創出することができたと思います。これからも、様々な奉仕を通じて八幡の街の環境美化に貢献していきたいと考えています。

*前年度に行われた、「豊かな自然プロジェクト」の報告となります。



エンドポリオ募金活動



八幡100人清掃イベント



集合写真



野球選手も参加

LOVE FM ロータリークラブ presents 「ピース・オン! DAYTIME」

地域や世界で社会貢献に取り組む人たちの声を届ける番組です。
ロータリークラブの活動を通して、やさしさの輪がどのように広がっているのかをご紹介します。
小さな一歩が未来を変える、そのきっかけとなる時間をお届けします。



2025-26年度ガバナー
濱野良彦 (福岡東南RC)



2025-26年度地区DX委員会委員長
田村 志朗 (福岡東RC)



岡 弥生 (福岡東南RC)

● どのような経緯でこの企画がスタートしたのですか

国際ロータリークラブ第 2700 地区 2025-26 年度ガバナーの濱野氏の発案により、より多くの人たちにロータリークラブの活動を知ってもらう目的で、LOVE FM で 1 年間番組を持つことが決まりました。

● 目的はなんなのでしょうか？

毎回の番組に現役のロータリアンがゲスト出演し、それぞれの立場でロータリークラブと自分の関係を語ることで、リスナーに活動への親近感を持ってもらうことです。またロータリークラブのボランティア活動の内容の広報のため、入会促進に功を奏するであろうことも目的の一つです。

● 企画を進めて行くなかでのご苦労は？

一年を通して番組テーマを決めること。局と打ち合わせが頻繁に開催されること。

出演者の選定は第 2700 地区全体からの招聘なので、収録日との兼ね合いなど常に調整が必要な点ですね。対談内容作成、出演者への連絡なども一年間続きます。

● 着目してほしいポイントはどこでしょうか

LOVE FM の DJ Anna さんのゲストとの会話からポイントを引き出す力でしょうか。

オープニングタイトル曲、これはオリジナルで今回制作しました。

● 面白かった事などのエピソードは御座いますか？

ゲストスピーカーの個性が光る番組なので、個人的な感覚から感じているロータリーイメージがバラエティに富んでいること。ロータリー活動のエピソードがリアルに語られ、リスナーに親近感を与える番組に仕上がっており想像以上に楽しめる番組になりそうです。

(福岡東南 RC / 上田真也)

Podcast はこちらから→ <https://lovefm.co.jp/rotary/blogs/podcast>

※Podcasting とは iTunes などの専用ソフトに好きなネットラジオ局を登録しておく、新しい放送がアップされるたびに、自動的にパソコンに音声ファイルをダウンロードしてくれるシステムです。iPod などの携帯音楽プレーヤーをパソコンにつないであればファイル転送できるので、通勤や通学中、休憩中など、あなたの好きな時間に番組を聴くことができます。

新クラブ設立タスクチームについて

濱野 良彦（国際ロータリー第2700地区 ガバナー／福岡東南RC）

野崎 千尋（国際ロータリー第2700地区 副ガバナー／小郡RC）

村瀬 廣記（2025-26年度 地区大会実行委員長／新クラブ設立タスクチーム リーダー）

1. 背景と目的

国際ロータリー第2700地区では、過去13年間にわたって新クラブの設立が行われていない状況にあります。会員数の減少、既存クラブの固定化、若年層や多様な層の参加機会の不足など、地区が直面する課題は深刻です。

こうした現状を踏まえ、新たなクラブを創設するためのタスクチームをガバナー直轄組織として立ち上げ、ロータリーの未来に資する柔軟かつ時代に即したクラブ創設を目指します。

2. タスクチームの位置付けと役割

- 位置付け：ガバナー直轄組織。クラブの枠を超え、地区内のロータリアンから柔軟な視点で人材を集めて構成。
- 主な役割：①企画設計 ②会員探索 ③スポンサー調整 ④RI申請準備 ⑤設立後の支援。

3. タスクチーム体制（※以下敬称略）

[アドバイザー]

濱野 良彦（国際ロータリー第2700地区 ガバナー／福岡東南RC）

野崎 千尋（国際ロータリー第2700地区 副ガバナー／小郡RC）

[チームリーダー]

村瀬 廣記（2025-26年度 地区大会実行委員長／福岡東南けやきロータリー衛星クラブ）

[メンバー]

鈴木 公利（地区会員増強委員長／菊田RC）

田村 志朗（地区DX推進委員長／福岡東RC）

4. 会員候補像の整理

- ・糟屋地域（ロータリークラブ不在地域）を中心としたロータリアンとしてふさわしい人材
- ・地域に根ざした若手・次世代層：事業者及び専門職
- ・女性・多様性層：女性経営者、子育て中の参加者、外国人居住者等

- ・経験者層：衛星クラブ・ロータアクト・既存クラブOBなど
- ・DX・新領域層：デジタルに精通し、柔軟な働き方をしている人材

5. 会場・事務所体制（予定）

- ・事務所：濱野ガバナー経営企業の一室を暫定拠点として使用
- ・文書管理：Google Drive等クラウド活用（書類共有・履歴管理）

6. 初年度のタスクスケジュール（2025年度）

8月：タスクチーム発足、候補者ヒアリング開始

9月：説明会企画・準備、新クラブモデル設計、定款・細則草案策定

10月：仮会員登録スタート、プレ例会設計

10～12月：プレ例会実施開始、RI認証準備、申請書類整備

1月以降：新クラブ設立チャーターナイト、運営定着支援フェーズへ移行

7. 活動上の基盤と方針

- ・RI最新ルール遵守（設立必要人数15名以上）
- ・設立にあたっての中立性・公正性の担保（特定クラブの影響からの独立）
- ・デジタル時代に対応したモデル設計（DX、オンラインとの併用例会（ハイブリッド）、SNS広報等）
- ・将来の拡張性と自走力を意識した運営設計

8. 今後の展望とご協力のお願い

本タスクチームは、地区全体の未来像を見据えた新クラブの創設を目指します。

若い世代、多様な層、地域課題に向き合う人材が、自然に集い続ける「場」を設計していきます。

新クラブの創設メンバーにふさわしい候補者がいらっしゃるようご推薦・ご紹介のほどをよろしくお願い申し上げます。

／ いろんな団体から楽しい応援幕が集まります ／

アスリートに直接
応援を伝えられます



2025 東京開催 デフリンピック応援会

デフ(聴覚障がい者)アスリートの挑戦をみんなで応援しよう

日時 令和7年9月20日(土) 13:00~16:00 **入場 無料**

会場 クローバープラザ TEL:092-584-1212 福岡県春日市原町 3-1 JR 春日駅隣

服部誠太郎 福岡県知事 応援メッセージ



「デフリンピック応援会」の開催を心よりお祝い申し上げます。
本県では、スポーツの力で県民生活をより豊かに、より元気にする「スポーツ立県福岡」を推進しています。
東京で初開催されるデフリンピックは、日本全体でデフスポーツの関心を高め、共生社会の実現を促進する絶好の機会です。本県のデフアスリートたちが、スポーツを通じて多くの方々に夢や希望を与えてくれることを期待しています。
デフリンピック開催まで、あとわずか。
皆さん、一緒に応援しましょう!
福岡県知事 服部 誠太郎

2025東京開催デフリンピック応援会 今村次美 実行委員長 挨拶



“きこえない人のオリンピック”と言われるデフリンピックは、100年の歴史を持ちパラリンピックより長い歴史を持っています。
今年11月に我国で初めて開催することになりました。
デフリンピックは、オリンピックやパラリンピックと同じく国際スポーツ大会であり、大会を通して手話言語やきこえないことについての理解促進や社会地位向上を図り、社会を変えていく理念を持っています。デフリンピックの理念をもとに、全国へ手話言語やデフスポーツの周知、情報・コミュニケーション・バリアフリーを促進し、誰もが個性を活かして活躍できる共生社会の実現に繋がっていきます。そのためには「多くの市民や子どもたちに、デフリンピックや手話言語、きこえないこと等を知ってほしい、また目に触れてほしい」と考えております。地元から参加されるデフリンピックの選手たちを励まし、気運醸成に取り組みたいです。
皆様には、ぜひ、私たちの取り組みにご支援をいただきたく、どうぞ宜しくお願い致します。

スケジュール (予定)

13:00	開会・主催者あいさつ・来賓あいさつ
13:15	デフアスリート紹介 14名予定
14:00	手話ダンス
14:15	応援幕披露 保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校・大学 ロータリークラブ・他団体 デフアスリートとの交流、手話での応援練習 会場全体で手話応援
16:00	閉会

お問い合わせ 太宰府RC(ロータリークラブ)事務局
TEL:092-513-9390

デフリンピック出場決定選手



矢ヶ部真衣選手
太宰府市出身
デフバドミントン



豊里凜選手
福岡市在住
デフバスケットボール

鎌田真衣選手(福岡市出身)デフバドミントン
矢ヶ部紋可選手(太宰府市出身)デフバドミントン
橋本樹里選手(久留米市在住)デフバスケットボール
藤田彩音選手(北九州市在住)デフバスケットボール
岡田紗也選手(北九州市在住)デフバスケットボール
羽田まりな選手(北九州市在住)デフバスケットボール
稗田諒選手(宗像市在住)デフバスケットボール
山本正則選手(福岡市在住)デフボウリング
岩崎先育選手(北九州市在住)デフハンドボール
松元卓巳選手(宇美町在住)デフサッカー
竹下勇希選手(久留米市在住)デフサッカー
久住呂文華選手(太宰府市在住)デフサッカー

【主催】

国際ロータリー第2700地区
第4グループ太宰府RC(ロータリークラブ)
2025東京開催デフリンピック応援会実行委員会

【協賛】

福岡RC・福岡南RC・福岡東南RC・福岡東RC・福岡城南RC・宗像RC・福岡平成RC・博多イブニングRC・福岡東南けやきRC衛
星クラブ・博多イブニングトワイライト衛星RC

【後援】

福岡県・福岡県教育委員会・福岡市教育委員会・春日市・筑紫野市
大野城市・太宰府市・那珂川市・春日市教育委員会・筑紫野市教育
委員会・大野城市教育委員会・太宰府市教育委員会・那珂川市教育
委員会・宇美町教育委員会・社会福祉法人福岡県聴覚障害者協会
RKB毎日放送・KBC・福岡放送・テレビ西日本・テレQ・NHK福岡
放送局・西日本新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部
本社・太宰府市キャンパスネットワーク会議

「2025 東京開催デフリンピック応援会」実行委員会
実行委員長 今村次美 (携帯090-1877-0716)

『ロータリーの友』9月号目次 (予定)

目次



声 6月号の感想	20 45
ロータリーあるある相談室	19 46
私の一冊	18 47
ぼんぼん彩句	東京中央新 海渡千佳
卓話の泉	花のある暮らし 佐世保北 公門新治
◆うちの子	盗掘にただた残念、無念 秦野中 関野恵雄
友愛の広場	娘と共に歩むロータリー人生 奄美中央 久友絵
海外4クラブを訪問 実感したロータリー	伊勢崎 宮平夏美
ロータリーライフの新たなスタート	越谷東 山崎晶弘
未来への旅路	鹿屋西 滝本まゆみ
◆三遊亭白鳥 選	12 53
ロータリー 柳壇	12 53
ロータリー 歌壇	12 53
◆長谷川 權 選	12 53
ロータリー 俳壇	12 53
五十三次つまみ食い	久保田英男
につぼんふうど	11 54
この人訪ねて	7 58
森 絹子さん 川口RC(第2770地区)	記事・村井重俊 撮影・佐藤 敬
生成AIの全貌	大規模言語モデルと拡散モデルがもたらす新時代 AI研究者 小平曉雄
SPEECH	2 63

7月 RAC会員数増減・累計出席率・My Rotary登録状況

グループ	クラブ名	7月 例会数	7月 出席率	期 首		7月				期首からの累計				My Rotary 登録率 (7/1現在)	目標会員数
				会員数	(内女性)	入 会	退 会	末日会員数	(内女性)	入 会	退 会	増 減			
北九州 地域	小倉東RAC	2	75%	6	3			6	3					15%	10
	若松RAC	0	0%	4	2			4	2					75%	-
	八幡RAC	2	49%	12	3			14	3					100%	15
	門司西RAC	2	100%	1	1			0	1					100%	3
	計 (4RAC)	6	58%	23	9	0	0	24	9	0	0	0		72%	28
久留米 福岡 地域	福岡RAC	2	71%	23	7			23	7					20%	28
	福岡西RAC	1	28%	7	3			7	3					100%	20
	福岡南RAC	2	68%	15	6			15	6					20%	20
	福岡城西RAC	2	83%	6	2			6	2					50%	10
	久留米RAC	2	66%	6	2			6	2					100%	10
	福岡東南RAC	2	78%	6	4			6	4					62%	10
	福岡中央RAC	2	60%	9	3			9	3					30%	12
	帝京大学福岡RAC	-	-	42	25			42	25					59%	-
	計 (8RAC)	13	64%	114	52	0	0	114	52	0	0	0		55%	110

RAC総計	クラブ数	当 月								2024年7月からの累計				My Rotary登録率 (7/1現在)	24年7月1日 目標会員数
		累計出席率	期首会員数	(内女性)	入会	退会	末日会員数	(内女性)	入会	退会	増減				
		12	61%	137	61	0	0	138	61	0	0	0	64%		

7月度 会員数増減・累計出席率・My Rotary登録状況

グループ	クラブ名	例会数	当月末 累計出席率	期 首		当 月				2024年度6月末日からの累計				My Rotary 登録率 (8/8現在)	25年7月1日 目標会員数
				会員数	(内女性)	入 会	退 会	末日会員数	(内女性)	入 会	退 会	増 減			
1	豊 前	5	80.67	30	3	1	0	30	3	1	0	1	65.52	33	
	豊 前 西	2	17.65	9	1	0	0	9	1	0	0	0	77.78	13	
	刈 田	5	84.14	29	3	0	0	29	3	0	0	0	82.76	30	
	田 川	4	91.89	37	2	0	0	37	2	0	0	0	86.49	39	
	行 橋	4	74.19	39	6	0	0	39	6	0	0	0	100.00	55	
	*衛星クラブ	2	70.83	12	6	0	0	12	6	0	0	0			
	行 橋 みやこ	3	49.65	52	3	0	0	52	3	0	0	0	100.00	54	
計 (6RC)	25	67.00	208	24	1	0	208	24	1	0	1	85.43	224		
2	小 倉	3	92.74	63	3	5	0	68	3	5	0	5	26.09	74	
	小 倉 中 央	3	92.44	43	12	0	0	43	12	0	0	0	81.40	45	
	小 倉 東	3	84.62	92	5	1	0	93	5	1	0	1	71.74	100	
	小 倉 南	4	99.46	54	2	1	0	55	2	1	0	1	29.09	60	
	小 倉 西	4	85.25	45	1	1	0	46	1	1	0	1	31.11	50	
	門 司	4	88.28	35	2	2	1	35	2	2	1	1	8.57	36	
	門 司 西	4	80.00	41	0	1	0	42	0	1	0	1	35.86	46	
	*衛星クラブ	2	95.45	11	3	0	0	11	3	0	0	0			
	戸 畑	4	91.67	13	2	0	0	13	2	0	0	0	69.23	20	
	戸 畑 東	3	81.94	24	3	0	0	24	3	0	0	0	62.50	26	
	若 松	3	86.67	20	3	0	0	20	3	0	0	0	57.14	33	
	若 松 中 央	4	72.28	24	1	2	1	25	2	2	1	1	24.00	24	
計 (11RC)	41	87.57	465	37	13	2	475	38	13	2	11	45.16	514		
3	飯 塚	4	96.79	70	0	0	1	69	0	0	1	-1	17.14	75	
	直 方	3	76.53	35	4	0	0	35	4	0	0	0	54.29	36	
	直 方 中 央	3	80.00	29	6	0	0	29	6	0	0	0	100.00	32	
	遠 賀	3	83.96	39	3	0	0	39	3	0	0	0	58.97	45	
	八 幡	4	86.29	44	5	0	0	44	5	0	0	0	34.09	46	
	八 幡 中 央	3	97.97	49	5	1	0	50	6	1	0	1	54.00	52	
	八 幡 南	4	86.41	47	1	1	0	48	1	1	0	1	41.67	49	
	八 幡 西	3	86.00	49	0	2	0	51	0	2	0	2	35.29	52	
計 (8RC)	27	86.74	362	24	4	1	365	25	4	1	3	49.43	387		
4	太 宰 府	4	93.62	47	3	0	0	47	3	0	0	0	100.00	53	
	福 岡	5	87.69	124	6	11	0	135	7	11	0	11	71.11	110	
	福 岡 平 成	3	77.54	49	11	0	0	49	11	0	0	0	70.00	52	
	福 岡 東	4	76.22	75	18	2	0	77	18	2	0	2			
	*衛星クラブ	2	61.76	17	2	0	0	17	2	0	0	0	68.09	100	
	福 岡 城 南	4	86.93	48	10	1	0	49	10	1	0	1	100.00	61	
	福 岡 南	4	63.07	90	0	3	0	93	0	3	0	3	68.27	114	
	*衛星クラブ	1	72.73	11	6	0	0	11	6	0	0	0			
	福 岡 東 南	4	77.73	66	10	3	0	66	10	3	0	3	63.74	98	
	*衛星クラブ	2	52.17	23	2	2	0	23	2	2	0	2			
	博多イブニング	4	81.07	44	7	4	0	46	7	4	0	4	81.97	52	
	*衛星クラブ	2	90.00	15	4	1	0	15	4	1	0	1			
	宗 像	4	70.72	47	5	1	1	47	5	1	1	0	59.57	52	
	対 馬	4	73.86	22	3	0	0	22	3	0	0	0	5.88	36	
*衛星クラブ	2	100.00	12	2	0	0	12	2	0	0	0				
計 (10RC)	49	77.67	690	89	28	1	709	90	28	1	27	68.86	728		
5	福 岡 中 央	3	90.57	51	10	2	0	53	10	2	0	2	65.67	70	
	*衛星クラブ	2	67.86	14	1	1	0	14	1	1	0	1			
	福岡イブニング	3	62.39	39	8	0	0	39	8	0	0	0	67.50	45	
	福 岡 城 西	4	92.84	116	0	4	0	116	0	4	0	4	57.76	120	
	福 岡 城 東	4	80.23	22	3	0	0	22	3	0	0	0	13.64	28	
	福 岡 北	3	90.34	51	5	0	0	51	5	0	0	0	61.54	58	
	福 岡 西	3	90.07	148	3	3	1	150	3	3	1	2	30.67	150	
	博 多	3	93.49	56	6	3	1	57	5	3	1	2	68.97	64	
	壱 岐	4	93.59	42	3	0	0	42	3	0	0	0	58.14	45	
	壱 岐 中 央	4	83.04	28	1	0	0	28	1	0	0	0	53.57	32	
	糸 島	4	88.68	53	1	2	0	55	2	2	0	2	54.55	60	
計 (10RC)	37	84.83	620	41	15	2	627	41	15	2	13	53.20	672		
6	甘 木	4	83.89	56	2	4	1	55	2	4	1	3	33.93	60	
	久 留 米	3	85.54	84	4	0	2	83	4	0	2	-2	34.94	90	
	久 留 米 中 央	3	93.40	37	3	0	0	37	3	0	0	0	72.92	54	
	*衛星クラブ	2	81.82	11	2	0	0	11	2	0	0	0			
	久 留 米 東	3	86.12	77	7	1	0	78	7	1	0	1	33.33	80	
	久 留 米 北	4	89.34	73	9	1	1	72	9	1	1	0	41.67	76	
	小 郡	3	93.13	47	2	0	0	47	2	0	0	0	72.88	50	
	*衛星クラブ	2	95.83	12	0	0	0	12	0	0	0	0			
	鳥 栖	3	89.47	50	6	1	0	51	6	1	0	1	46.15	60	
浮 羽	4	80.36	33	1	0	0	33	1	0	0	0	30.30	35		
計 (8RC)	31	87.41	480	36	7	4	479	36	7	4	3	45.77	505		
7	筑 後	4	91.43	30	1	0	0	30	1	0	0	0	30.00	31	
	大 川	4	90.28	36	1	0	0	36	1	0	0	0	97.22	43	
	大 牟 田	5	89.19	64	6	0	0	64	6	0	0	0	79.69	63	
	大 牟 田 北	5	83.54	49	2	1	1	49	2	1	1	0	73.47	59	
	大 牟 田 南	3	88.46	28	0	0	0	28	0	0	0	0	25.00	32	
	八 女	4	77.63	18	4	1	0	19	4	1	0	1	62.96	35	
	*衛星クラブ	0	0	8	2	0	0	8	2	0	0	0			
	柳 川	4	81.44	43	4	0	1	42	4	0	1	-1	78.57	47	
計 (7RC)	29	86.00	276	20	2	2	276	20	2	2	0	63.84	310		
総 計		クラブ数	当 月						2024年6月末日からの累計				My Rotary登録率 (8/8現在)	25年7月1日 目標会員数	
			累計出席率	期首会員数	(内女性)	入会	退会	末日会員数	(内女性)	入会	退会	増減			
		60	82.46	3,101	271	70	12	3,139	274	70	12	58	58.81	3,340	

寄付認証者紹介

ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) 会員

本田 浩 君 福岡RC 土井 通 君 福岡東南RC
2025年8月21日現在 135名

ポール・ハリス・フェロー

上田 正人 君 博多イブニングRC Multiple	浅野 寿子 君 博多RC Multiple
粥川 昌洋 君 福岡城西RC Multiple	石田 美紀子 君 博多RC Multiple
松尾 利弘 君 鳥栖RC Multiple	市川 浩 君 博多RC Multiple
深野 義弘 君 直方中央RC Multiple	縄田 正隆 君 博多RC Multiple
麻生 誠 君 福岡RC Multiple	橋本 上 君 博多RC Multiple
本田 浩 君 福岡RC	長谷 武 君 博多RC Multiple
福田 隆一 君 太宰府RC Multiple	藤井 庸子 君 博多RC Multiple
宮崎 義一 君 小倉西RC	松井 広充 君 博多RC
阿津坂 秀人 君 大牟田北RC Multiple	松岡 祐弥 君 博多RC Multiple
横倉 義武 君 大牟田北RC Multiple	森川 康朗 君 博多RC Multiple
重松 久幹 君 福岡イブニングRC Multiple	山崎 唯 君 博多RC Multiple
秋吉 智博 君 博多RC Multiple	江口 信夫 君 久留米中央RC Multiple

米山功労者

	表彰回数		表彰回数
江頭 彰 君 久留米RC 2	杉 寛司 君 浮羽RC 4		
江崎 穰 君 門司西RC 103	武藤 誠二 君 八幡中央RC 10		
村上 充生 君 小倉RC 16	内田 剛 君 八幡南RC 1		
深野 義弘 君 直方中央RC 3	猪飼 久司 君 大牟田RC 2		
武村 欽也 君 小倉東RC 3	桧 敬 君 刈田RC 21		
宮崎 義一 君 小倉西RC 1	松岡 功峻 君 小倉東RC 4		
小山田 浩定 君 博多イブニングRC 115	江口 信夫 君 久留米中央RC 1		

物故会員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



故 是此田 穰 会員
(八幡西RC)

ロータリー歴: 43年10ヵ月
逝去年月日: 2025年8月7日
享年: 93



故 河野 美秋 名誉会員
(福岡中央RC)

ロータリー歴: 39年3ヵ月
逝去年月日: 2025年8月10日
享年: 97

訂正とお詫び

『月信』8月号23ページ「6月出席報告」に訂正の報告がございました。訂正の上、お詫び申し上げます。

飯塚RC6月末日会員数 75名→70名
地区6月末日会員数 3,086名→3,081名

7月新会員ご紹介 (29RC 70名) ※衛星クラブ

グループ	クラブ名	お名前(敬称略)		
1	豊前	丸谷 宏一		
2	小倉	三棟 正博	麻生 弘之	曾山 茂志
		森 茂樹	杣 剛	
	小倉東	吉田 功		
	小倉南	平田 輔		
	小倉西	阿座 上憲美		
	門司	大田 圭彦	中島 浩一	
3	門司西	堀本 幹夫		
	若松中央	野村 まゆみ	福田 亮太	
	八幡中央	名村 知美		
4	八幡南	溝江 鉄兵		
	八幡西	田中 慎太郎	吉田 浩二	
	福岡	浅見 昭彦	内川 孝広	森 君夫
5		樋口 大山	不破 淳司	山本 祐士
		三井 高輝	山本 真司	古屋 和巳
		高濱 浩二	石坂 淳子	
	福岡東	田口 明	梅林 洋一郎	
	福岡城南	貞森 佐土志		
	福岡南	春日 英樹	大久保 茂雄	萩原 和市
6	福岡東南	廣渡 健	櫻木 雅仁	辻 慎一
		片山 健二郎	池田 祐次	
	博多イブニング	岡村 直	片山 宇一郎	古賀 聖也
7		齋藤 亮紀	鶴久 菜々	
	宗像	隈崎 啓一郎		
	福岡中央	井口 正邦	田川 真司	江口 裕*
8	福岡城西	中野 孝介	山下 雅之	野田 始
		橋本 晃		
	福岡西	坂本 公成	伊藤 秀真	山内 崇
9	博多	松本 義人	工藤 靖弘	森元 賢治
	糸島	筒井 秀和	安武 美歩	
	甘木	北野 喜章	吉良 健太郎	堀田 謙介
10		福田 広作		
	久留米東	坂本 良		
	久留米北	木下 高明		
11	鳥栖	野田 哲郎		
	大牟田北	古後 崇		
	八女	石橋 和也		

9月地区内行事予定表

3日(水)	インターアクト委員会 第1回 クラブサポートミーティング
4日(木)	ロータリー財団委員会 戦略計画推進委員会
5日(金)	福岡東RC創立55周年記念式典
6日(土)	ロータリー財団地区補助金セミナー
9日(火)	クラブ運営支援委員会
11日(木)	地区ラーニング委員会
13日(土)	第1回ローターアクト地区研修会
18日(木)	会員増強委員会
19日(金)	第2回 ガバナー諮問委員会
20日(土)	米山記念奨学生カウンセラー研修会 青少年交換次年度派遣候補生選考試験
24日(水)	職業奉仕委員会

第2700地区ガバナー月信 編集委員会連絡所

月信担当/部門長: 上田真也 副部門長: 草原祥子
筒丸貴行 石川龍之介 清原一貴

ロータリーの友地区代表委員/上田真也

連絡先/株 梓書院 ガバナー月信編集局

〒812-0044 福岡市博多区千代3-2-1

TEL092-643-7075 FAX092-643-7095 E-mail: mail@azusashoin.com

Rotary 国際ロータリー第2700地区 ガバナー事務所

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル 5F

TEL. (092) 481-2650 FAX. (092) 481-2651

事務所長 E-mail: gocheef@2700rid.com

事務所 E-mail: ri2700go@2700rid.com

(執務時間) 平日/ 9:30 ~ 17:00 土曜日・日曜日・祝日/ 休務